

【がん薬物療法専門医コース】

授業科目名	臨床腫瘍学演習Ⅲ(乳腺・泌尿器)	授業形式	演習	
配当年次	1-4年次	選択・必修	選択	
単位数	2単位 30時間	曜日・時限	通年 月曜 16:00-18:00	
担当責任者	南 博信			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳癌の特異性、診断(各種診断方法)、乳癌の治療(手術療法、放射線治療、化学療法、内分泌療法)に関して理解し、適格な治療方法を習得する。 2. 乳癌の薬物治療に関して近年の動向(分子標的治療を含めて)について学習し、EBM に基づいた乳癌治療を理解する。 3. 腎がん、前立腺がんの診断と治療について学習する。 			
授業の概要		演習内容	担当者	場所
	15時間	乳癌	向原	腫瘍・血液 内科医局
	15時間	泌尿器科がん(腎がん、前立腺がんなど)	向原	腫瘍・血液 内科医局
	<p>実際に担当した患者情報を用いて、臨床診断、治療法の決定方法、治療法の具体的経過観察、治療効果について学習する。疾患ごとの授業課程は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと講義 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 疾患についての講義 (イ) 自主学習の目標設定 (ウ) 患者の割り当て 2. 自主学習 <ul style="list-style-type: none"> (エ) 実際の患者の診療に携わる (オ) 診断・治療・臨床経過のまとめ (カ) 考察 <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の臨床的特徴 2. 疾患の臨床的特長 3. プレゼンテーション: 学生と教官とで討議 4. 病歴要約をレポートとして提出する。 <p>受け持ち患者の種類や人数は学生と教官との合意により決定する</p>			
関連科目	共通特論Ⅱ:臨床腫瘍学総論			
成績評価	病歴要約レポートとプレゼンテーションの内容で評価する。			
備考	(メールアドレス) 向原 徹(腫瘍センター 特命准教授)mukohara@med.kobe-u.ac.jp (オフィスアワー)			